

事業概要【やまなしGXエコシステム推進事業】

申請者	山梨県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	304,419千円 (145,055千円)
経費の種類	ソフト事業	レ	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>本県の中小企業とその支援団体がGXを促進していく好循環（エコシステム）を構築し、経営強靱化を図る。本県が強みを有する水素製造を、関連産業の集積や活用につなげ地域の収益力を向上させる。主要産業である農業と水素を組み合わせ、高付加価値化を図る。 →これらの取り組みにより、脱炭素化と本県経済の活性化の同時達成を図る。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 中小企業のGX促進に向けた体制づくり、水素社会の実現に向けた戦略策定、水素加温機の導入実証に取り組み、本県の脱炭素、高付加価値化の推進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○GXエコシステム構築に関する事業 ・支援機関の人材育成(委託料) 16,942千円 ・支援体制の整備(委託料) 16,536千円 ・インセンティブとなる仕組みづくり(委託料) 13,778千円 ○やまなし水素社会実現戦略策定に関する事業 ・戦略作成支援(委託料) 49,071千円 ○カーボンフリー農業における水素加温機の導入実証 ・水素燃料費等 5,844千円 ・施設整備費 42,884千円</p>				<p>○中小企業のGX化促進 ・企業とその支援団体がGXを推進していく仕組みを構築・人材育成 →好循環（エコシステム）の形成</p> <p>○本県の水素製造の強みを活用 ・水素社会に向けた戦略の策定 ・カーボンフリー農業に向けた取り組み →産業の集積・高付加価値化</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本県の脱炭素化と経済の活性化を同時に実現</p> <p>(参考) 山梨県はグリーン水素製造のトップランナー</p> <p>山梨県・米倉山電力貯蔵技術研究サイト</p>   <p>→水素利活用による脱炭素化や産業の高付加価値化へと展開</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>中小企業のGX促進、水素社会の実現に向けた取り組み、水素加温機の導入実証それぞれについて、大学や金融機関、民間企業、商工農業団体をはじめとした各団体と連携し、意見を聴取しながら、事業の改善に反映していく。</p>				KPI	<p>①地域における新規雇用者数 (+48人) ②GX支援案件数 (+262件) ③GX支援人材育成数 (+310人) ④水素・燃料電池関連産業参入企業数 (+30件) ⑤水素加温機によるCO2削減量 (▲16.6t-CO2)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>